

令和4年度 道徳教育 全体計画

学校番号	76	長野県松本工業 高等学校	全日制 課程	機械 電気 科 電子工業
------	----	--------------	--------	--------------------

学校教育目標
1 校訓「錬磨創造」の示す自己研鑽を重ねながら人格の陶冶に努め、洞察力・創造力を発揮しながら実践力に富んだ人格形成を目指す。 2 豊かな人間性と強靱な精神を鍛えるとともに産業技術の基礎となる知識や技術を習得し、工業人としての責任感と使命感を持って社会に貢献できる技術者を育成する。

重点目標
自ら学び、自ら鍛え、社会の変化に対応し、たくましく生き抜くことができる、心豊かな生徒の育成 ①人間力づくりへの取組…基本的な生活習慣と規範意識の確立・クラブ活動や特別活動等を通して協働性を高め、目標に向かって失敗をおそれずに挑戦し続ける「真の生きる力」を身に付ける ②キャリア教育への取組…企業・大学見学、インターンシップ、企業説明会、企業説明会、課題研究を基本とした実践的総合力の習得を3年間系統的に取組むとともに、生徒一人ひとりに応じた早期からの進路指導を推進する ③ものづくりへの取組…i)ものづくりにおける専門性の深化と知的財産権、起業家等育成に関わる創造教育を醸成、推進する ii)各種連携事業の活性化やICTを活用しながら、生徒が高い目標に向かって挑戦する意識付けとなる探究的な教育を推進する ④組織づくりへの取組…お互いの人格を尊重し、いじめ、体罰等のない安心・安全に過ごせる学校づくりのための教職員組織力の強化・学校全体での探究的な学びの推進と学びの質を向上する ⑤基礎学力の定着…認定ツールによる診断を行い、「基礎学力の確実な習得に向けたPDCA」を実施する

道徳教育の重点目標
1 質実で礼儀を重んずる態度と、奉仕の精神を育成する。 2 勤労意欲、創意工夫の能力、工業技術に関する研究心、自身の安全と法を守る高い意識を養う。 3 生徒による自主活動を重んじ、自主自律の精神を育成する。



学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	学校内外での諸活動を通して、質実で礼儀を重んずる態度と、奉仕の精神を育成する。	各科において基礎的知識を習得し、進路に向けての意識を高める。 ○各種の検定試験 ○専門科の授業 ○各科の講習会 ○大学企業見学	新しい環境において、積極的に他者と交わり、良好な人間関係を構築する。 ○スマホ教室 ○クラスマッチ ○人権学習 ○強歩大会	松工生としての自覚を持ち、生徒間の団結力を高め、集団活動がよりよいものとなるよう努力する。 ○応援練習 ○文化祭
2年	主体的に行動する態度を養い、勤労意欲、創意工夫の能力、工業技術に関する研究心や 高い安全意識を養う。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○インターンシップ ○各種の検定試験 ○専門科の授業 ○各科の講習会	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者と協働しながらも、自らの成長に繋がるよう、主体的に行動する。 ○研修見学旅行 ○応援練習 ○クラスマッチ ○人権学習 ○性教育 ○強歩大会	校内組織における中心的な存在として、下級生の模範となるよう主体的に行動し、本校のよき伝統を内外に伝える。 ○応援練習 ○部活動内で行われる諸活動 ○文化祭 ○生徒会の運営
3年	社会の諸課題に目を向け、主体的に解決していこうとする資質や能力、自主自律の精神を育成し、他者に共感する心、寛容の精神を養う。	社会の一員としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○企業連携講座 ○進路探究 ○課題研究と発表	社会の一員としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○人権学習 ○強歩大会 ○高校卒業後の在り方について	松工生としてのみならず、地域社会を支える一人としての自覚に基づき、あらゆる人が尊重される社会の実現をめざす。 ○生徒会の運営 ○文化祭の運営

各教科	
工業	ものづくりなど、実践的・体験的な学習活動を通して、地域社会の持続的かつ環境にも配慮した発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。
国語	国語で的確に理解・表現する能力を育成し、他者との関わり合いのなかで伝え合う力を高め、道徳的心情や道徳的判断力を育む。
地理歴史 公民	歴史を学び、過去の人々と自身を重ねあわせることによって、人としての生き方を考え、物事を多面的・多角的・客観的に捉え、正しく判断する力を身につける。
数学	数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性・創造性を養い、日常にある問題を数学的に考える資質・能力を育成する。
理科	観察・実験などの学習を通して、自然の事物・現象を探究し、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
保健体育	保健体育の学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にすることを養い、心と体を鍛える。
芸術	鑑賞などの活動を通して感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うとともに、大らかで寛容な人間の育成に努める。
外国語	外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図り、互いに情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりする態度を養う。
家庭	生活の営みに係る見方や考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して創意工夫する力を育成する。
情報	情報の正確さを見極める力や、正しく活用する力を身につけるとともに、情報モラルを高めていく。
総合的な 探究の時間 (課題研究)	身近な問いから発し、課題を立て、解決に必要な知識及び技能を身に付けるなかで、主体的に学ぶ態度を養う。



家庭・地域との連携	・地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら、地域のため、そして社会のために貢献し、活躍できる生徒を育成する。 ・家庭と連携しながらも、生徒の自己を尊重し、社会に主体的に参画するための準備をすすめる。
-----------	---